

# Sleep Innovation Platform

令和 5 年度

第 1 回 Sleep Innovation Platform<sup>®</sup>総会

開催レポート

2023 年 8 月 9 日（水）開催

於：TOKYO TORCH 常盤橋タワー10階ホール

東京海上日動火災保険株式会社 本店ビル

## 開催概要

---

- 【日時】 令和5年8月9日（水）13：00～17：00  
【会場】 TOKYO TORCH 常盤橋タワー10階ホール  
東京海上日動火災保険株式会社 本店ビル  
【司会】 貞平 麻衣子



### 1. 開会宣言及び特別講演

---

Sleep Innovation Platform 理事長／筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 WPI-IIIS 機構長  
柳沢 正史

「スリープイノベーションプラットフォーム（SIP）のメンバー全員が初めて顔を合わせる機会が今回の第1回総会です。SIPでは、参加企業様それぞれの社屋の一部をご提供いただき、会合を開催するという素晴らしいトラディションができています。今回は、東京海上日動火災保険株式会社様にご協力いただき、大変感謝致します。」と、ご挨拶を述べられた後、柳沢理事長に引き続き特別講演を行っていただきました。



### 『睡眠の謎に挑む～基礎研究から睡眠ウェルネスへ～』

柳沢理事長からは、太古より引き継がれた睡眠自体の役割や謎について、最新の研究内容と共にご講演頂きました。また、睡眠が健康増進や生産性向上に重要であることが近年着々と報告されているにも関わらず、日本人の平均睡眠時間はまだまだ少ないこと、全国的に睡眠を専門とする医師・病院数が予測される不眠症患者数に対して圧倒的に少ないことなど、現状に対する懸念を示され、一過的な改善策として仮眠の推奨と、持続的な対策として、1人1人が睡眠に関してもセルフメディケーションできるように簡易脳波計などを用いた客観的な睡眠計測デバイスの普及に対する重要性を発信されました。

## 2. 来賓挨拶 I

---

厚生労働省 健康局 健康課 女性の健康推進室 室長  
田邊 和孝



### 『健康日本 21（第三次）における睡眠分野の取組について』

来賓挨拶として、厚生労働省 健康局 健康課 女性の健康推進室 室長 田邊 和孝様には、日本が 2000 年から実施している「健康日本 21」の取り組みについて、来年から始まる第三次の基本方針についてご説明頂きました。

「健康日本 21」スタート時から続けている調査の中で、「睡眠による休養を十分に取れていない者」が 18.4%から現在は 21.7%まで増えており課題視している。そこで「健康日本 21（第三次）」では、「健康寿命延伸」を大きな目的とし、「誰一人取り残さない健康づくり」「より実効性をもつ取り組み」を 2 本柱として、「全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会」の実現を目指しており、睡眠分野に関する具体的な目標として、「睡眠で休養がとれている割合」が、令和元年の現状値 78.3%から令和 14 年度には 80%に、また「睡眠時間が 6～9 時間（60 歳以上は 6～8 時間）の者の割合」が、現状値 54.5%から令和 14 年度には 60%になるように設定していることを紹介いただきました。

### 3. 来賓挨拶Ⅱ

---

経済産業省 商務サービスグループ ヘルスケア産業課 課長  
橋本 泰輔



#### 『ヘルスケア政策について～新しい健康社会の実現へ睡眠領域に期待すること～』

来賓挨拶として、経済産業省 商務サービスグループ ヘルスケア産業課 課長 橋本 泰輔様には、経済産業省としてのヘルスケア政策についてご説明頂きました。

少子高齢化が進んでいる現状に対して、「国民の健康」を重要視する意識が高まっている。健康な人が増えれば高齢になっても労働力の量につながり、生産性、経済性にもつながるといふ考えのもと、国民一人ひとりの健康を形作っていくことが重要な時代ととらえ、経済産業省としてもヘルスケア産業課を設け、次の3つの目標を掲げて活動を行っている。

- ① 健康寿命を2040年に75歳以上に。
- ② 公的保険外のヘルスケア・介護に係る国民市場を2050年77兆円に。
- ③ 世界の医療機器市場のうち日本企業の獲得市場を2050年13兆円に。

これら目標を達成するために、ヘルスケア政策としては「健康経営の推進」「PHR（パーソナルヘルスレコード）：各人の健康診断結果や日常の脈拍・歩数などのデータ）を活用した新たなサービスの創出」「ヘルスケアサービスの信頼性確保」などを中心に活動していることを具体的にご紹介頂きました。

## 4. 各メンバー紹介

---

### 【アドバイザーボード】

- ・筑波大学 国際睡眠医科学研究機構 WPI IIIS 機構長 柳沢 正史
- ・スタンフォード大学 医学部精神科 教授 スタンフォード大学 睡眠生体リズム研究所 (SCNL) 所長 西野 精治  
(ビデオメッセージ)
- ・慶応義塾大学 医学部教授 宮田 裕章  
(ビデオメッセージ)

### 【役員】

- ・理事長：筑波大学 国際睡眠医科学研究機構 WPI IIIS 機構長 柳沢 正史
- ・理事：東京海上日動火災保険株式会社 東京中央支店 支店長 渡辺 光明
- ・理事：西川株式会社 代表取締役 会長兼社長 西川八一行
- ・幹事：伊藤忠商事株式会社 執行役員 人事総務部長 垣見 俊之

### 【運営委員】

- ・筑波大学 国際睡眠医科学研究機構 WPI IIIS 小久保 利雄
- ・株式会社アシックス スポーツ工学研究所 人間特性研究部 部長 田川 武弘
- ・伊藤忠商事株式会社 人事・総務部 企画統轄室長 岩田憲司
- ・株式会社 S'UIMIN 取締役 CEO 俵谷好法
- ・東京海上日動火災保険株式会社 マーケット戦略部 企業戦略室 課長 高橋あずさ
- ・西川株式会社 イノベーション・マーケティング戦略事業部 執行役員 部長 竹内 雅彦
- ・日本生命保険相互会社 ヘルスケア事業部 ヘルスケア事業企画 担当部長 須永 康資
- ・パラマウントベッド株式会社 デジタル事業開発部 シニアマネージャー 初雁 卓郎

**【加盟団体・企業】**

- ・筑波大学 国際睡眠医科学研究機構
- ・株式会社アシックス
- ・伊藤忠商事株式会社
- ・花王株式会社
- ・カルビー株式会社
- ・株式会社資生堂
- ・株式会社 S'UIMIN
- ・積水ハウス株式会社
- ・東京海上日動火災保険株式会社
- ・西川株式会社
- ・日本生命保険相互会社
- ・パラマウントベッド株式会社
- ・株式会社ブレインスリーブ
- ・三井不動産株式会社
- ・レスメド株式会社

**【新規加盟団体・企業】**

- ・株式会社 NTT データ

## 5. 各ワーキング活動のご紹介

---

日本国民の健康を睡眠の視点から支援する活動を目的とし、ワーキンググループ（WG）1から3の3つ事業に取り組んでいます。それぞれのWGを代表し、座長より各活動内容について説明を行いました。

### 【WG1】

筑波大学 国際睡眠医科学研究機構 WPI IIS 教授 徳山 薫平



### 「睡眠サービスの品質向上」～睡眠サービスの品質チェック基準ガイドラインの策定～

WG1を代表し、座長の筑波大学 国際睡眠医科学研究機構 WPI IIS 教授 徳山 薫平氏より活動内容について説明を行いました。

睡眠関連サービス・商品の品質が玉石混合の中、睡眠関連サービス・商品の品質向上を目的に、本事業ではエビデンスを基にしたサービスの品質チェック基準を経済産業省が発行するガイドラインに従って策定している。質が担保されたサービスを消費者に届けることをゴールとし、令和6年4月までに初版を発表する予定であることを進捗報告しました。



## 【WG2】

株式会社アシックス スポーツ工学研究所 人間特性研究部 石野 和人



### 「新たな睡眠ビジネス検討」

WG2 を代表し、座長の株式会社アシックス スポーツ工学研究所 人間特性研究部 石野 和人氏より活動内容について説明を行いました。

国民の健康寿命延伸や QOL 向上、健康経営における生産性の視点から、事業者・アカデミア連携による高付加価値ビジネスモデルの検討が必要であり、WG2 では、次の3つの分科会 (Subcome) を立ち上げて活動を進めていることを進捗報告しました。

- ・ Subcome1 「既存サービスの有効活用と連携サービス」  
(睡眠可視化サービス・ビジネス。睡眠と運動の連携サービス)
- ・ Subcome2 「新たな睡眠サービスの開発ビジネス」  
(健康経営を目的としたサービス)
- ・ Subcome3 「睡眠啓蒙活動と連携したビジネス」  
(睡眠啓蒙と連携したサービス。広報と PR 戦略サービス)

### 【WG3】

西川株式会社 日本睡眠科学研究所 所長 野々村 琢人



#### 「睡眠データ基盤検討」

WG3 を代表し、座長の西川株式会社 日本睡眠科学研究所 所長 野々村 琢人氏より活動内容について説明を行いました。

WG2 も検討しているサービス実装の際に、企業間でどのデータをどのような形で渡すか、また個人情報などをどう扱うかなど大きな課題となる。そこで、WG3 では「睡眠データの利活用促進に向けた基盤整備」を、国の PHR 政策を踏まえ、PHR サービス事業協会（標準化委員会）の活動と整合性を図り、WG1、WG2 との連携をとりながら進めていることを報告しました。

## 6. 令和4年度事業報告・令和5年度事業計画発表

スリープイノベーションプラットフォーム事務局を代表して、西川株式会社 広域戦略事業部 第6部 第3課 課長 飯沼 誠より、令和4年度会計報告、令和5年度予算計画、スリープイノベーションプラットフォームのシンボルマークについて、会則について説明がありました。

※これらはすべて、先に行われた臨時理事会にて承認された事項になります。

総会后、TOKYO TORCH 常盤橋タワービル 3階「My Shokudo Dining」にて懇親会が開催されました。

以上